



高二中だより



「主体的に行動する」「すすんで貢献する」「多様性を理解する」「新たな考えを創造する」

〒175-0082 東京都板橋区高島平 2-24-1

Tel 03(3936)1591 Fax03(3935)6441

板橋区立高島第二中学校

校長 溝口 千里

校則の見直し? なののために?

令和4年6月に「こども基本法」が制定され、令和5年4月に施行されてから7ヶ月が過ぎました。

学校だより令和4年9月号参照。ぜひ一読のうえ、続きをお読みください。→

<https://www.ita.ed.jp/weblog/files/1320145/doc/64996/388683.pdf>



同法で、子どもの権利擁護や子ども自身が意見を表明する機会の確保が法的に定められました。また、学校と教員に向けた「生徒指導提要」(令和4年12月改定)には、校則に関して「児童・生徒の参画」という項目が新たに加わりました。また、校則の見直しをするに当たっては、児童・生徒の他、保護者や地域住民などの学校関係者からの意見も聴取した上で決めていくことが望ましいとの記載があります。

本校では毎年の生徒会が主体的に校則の見直しについて取り組んでくれていましたので、これからも、生徒たちの自治を尊重し、生徒たちに考える力と判断する力を養うようなルールメイキングの取組をしていきたいと考えています。並行して、学校としてもこれまでの規制傾向にある校則を緩やかにする方針で見直しを進めているところです。

7月には、生徒・保護者に対して校則についてのアンケートを実施しました。その後、回答いただいたアンケートを集計し、内容の確認、校則の見直しに向けた校内会議を重ねています。

10月30日には、防寒着を着用する季節に間に合わせ、「校則の見直しについて(防寒着)」を保護者に配付し、防寒着の制限をなくすお知らせをしました。

現在は、生徒・保護者アンケートで指摘が多かった頭髪や靴下等について一部変更をしていく準備を進めています。生徒自身が考える機会も設定しながらルールメイキングの取組を進めていくため、時間がかかる部分もありますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

校則は、守らせることばかりにこだわることなく、何のために設けたきまりなのか教職員が理解し、生徒もその意味を理解して自主的に校則を守ることができる学校をめざし、指導をしていきます。

【令和5年度の動き】

- 7月 生徒・保護者アンケート調査
- 8月 集計結果を教職員に周知
- 9月 生活指導部会等での検討
- 10月 職員会議等での検討、生活指導部会での再検討、防寒着について変更実施
- 11月 コミュニティ・スクール委員会で「校則の見直し」をテーマに熟議

学校ホームページでも関連内容を掲載していきます。

<https://www.ita.ed.jp/swas/index.php?id=1320145&frame=frm63f5c3e84486e>



校則は緩やかにする方向で議論は進めています。これまでに高二中で指導してきた事柄は「学校生活に相応しい身だしなみ」としてどこに行っても通用するものであり、その感覚を今後も大切にしてほしいと思っています。防寒着を例にしても、派手な身だしなみにすることを奨励しているわけではありませんし、新しいものを買う必要性も全くありません。学校は勉強をするだけでなく、いろいろなことを学ぶ場です。TPOに合った身だしなみについては校則の記載に関わらず気付いたことは生徒に声掛けをし、伝えていきたいと教職員一同思っています。



★★★東京都「児童・生徒の学力向上を図るための調査」結果★★★

5月中旬～6月中旬の期間に学年・クラスごとで行った「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の東京都全体の調査結果が10月30日に公表されました。この調査は、東京都の児童・生徒の学びに向かう力等に関する意識及び学校の指導方法等を把握・分析、改善していくために行われてきました。生徒は、Chromebookを用い、ウェブシステムを通じて回答しました。都全体と本校の数値を比較してみます。

各教科（5教科）の授業の内容に対する理解の程度

(1) ○○の授業の内容はどのくらい分かりますか

【「よく分かる」「どちらかといえば分かる」の合計値が都平均より高かった教科】

7年 社会、英語 8年 数学、英語

(2) △△の学習はどのくらい得意ですか

【「得意」「どちらかといえば得意」の合計値が都平均より高かった教科】

7年 国語、社会、英語 8年 数学、理科、英語 9年 数学、英語



この調査は春に実施したものです。半年経った今、生徒の皆さんは、もう一度下記の項目をチェックしてみてください。なお、文末（ ）内に示されている学年は調査結果の値が都平均より上だった学年です。

学習の進め方（教科共通）

- (1) 確実にできるようになるまで、くりかえし練習している。
- (2) 難しいと感じる問題でも、最後まであきらめずに取り組んでいる。(8年)
- (3) 分からないことがあっても、学習を続けるようにしている。
- (4) 集中して学習に取り組んでいる。
- (5) どうやったらうまくいくか考えてから学習を始めるようにしている。(7、9年)
- (6) 学習の途中で、分からないところやできないところはどこかを考えている。(9年)
- (7) 学習をしてもできるようにならないときは、学習の方法を工夫している。(8年)
- (8) テストでまちがえたときは、なぜまちがえたのかを考えている。
- (9) 他の人と意見がちがったときは、質問をして相手の考えを確かめている。
- (10) 分からないときは、他の人や先生に質問して解決している。(8年)
- (11) 自分が考えたことを、積極的に他の人や先生に伝えようとしている。
- (12) 他の人と相談して、考えを深めるようにしている。
- (13) 学習していて分からない言葉があれば、すぐに調べるようにしている。
- (14) どうしてそうなるのかという理由を考えながら学習している。(7年)
- (15) 答えだけではなく、考え方も確かめながら学習している。(8年)
- (16) 大切な言葉や公式などは、意味を理解して覚えるようにしている。(8年)

学習の進め方（国語〈漢字〉）

- (1) 漢字を何度もくりかえし書いて覚えている。
- (2) 漢字の部首の意味も考えながら覚えている。
- (3) 似た意味や反対の意味の漢字、使われている熟語などを確かめながら覚えている。
- (4) テストやドリルでまちがえたときは、まちがえた漢字を選んで、特に練習している。

(5) テストで漢字をまちがえたときは、どこをまちがえたのかを確かめている。

学習の進め方 (国語〈話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと〉)

(1) 発表や話し合いのときは、話す内容や順序を考えてから話している。

(2) 他の人の話を聞くときは、メモを取って理解するようにしている。(9年)

(3) 自分が書いた文章を読み返し、分かりやすい表現になるように書き直している。(9年)

(4) 他の人が書いた文章の良い点を取り入れて書くようにしている。

(5) 文章を理解できるように、大切だと思った部分や疑問に思った部分に線を引きながら読んでいる。

(6) 文章を読んで理解したことや考えたことなどを他の人に説明している。(9年)

学習の進め方 (数学〈計算問題〉)

(1) 答えだけでなく、途中の計算も書いている。(8年)

(2) 簡単に計算することができないか考えてから計算している。(7, 8年)

(3) まちがえた計算問題は、どこでまちがえたのかを考えている。(7, 8年)

(4) テストやドリルでまちがえたときは、似た問題を選んで、特に練習している。

学習の進め方 (数学〈用語・公式〉)

(1) 数学で学習する言葉や公式は、見ないでも言えるようにしている。

(2) 数学で学習する言葉や公式の意味を理解しようとしている。(8年)

(3) 数学で学習した言葉を使って自分の考え方を説明している。(9年)



学習の進め方 (数学〈文章問題〉)

(1) 前に同じような問題をやったことがあるかや、今まで学習した問題とどこがちがうのかを考えている。(8年)

(2) 分かっていることと求めることを考えて問題に取り組んでいる。(7, 9年)

(3) 問題文の内容を図や表、グラフに表して考えている。(9年)

(4) 式と答えだけでなく、途中の計算も書いている。(8年)

(5) まちがえた文章問題は、どこでまちがえたのかを考えている。(7, 8年)

学習習慣 (学習塾や家庭教師による学習等を含めない)

(1) 学校以外で、月曜日から金曜日まで、毎日およそどのくらいの時間、学習をしますか。(学習塾や家庭教師による学習、習い事の時間は含めません。)
「毎日2時間以上」「毎日1時間以上、2時間より少ない」「毎日30分以上、1時間より少ない」(以下略)

(2) 自分で計画を立てて学習している。(8年)

(3) 教科書を読むなどして、授業でこれから学習することの見通しをもつようにしている。

(4) 教科書やノートを読み返すなどして、授業で学習したことを振り返るようにしている。(7, 8年)

(5) 教科書やドリルの問題に取り組むなどして、学習したことを確実にできるようにしている。(7, 9年)

多くの項目を紹介しました。この調査が年度当初の調査であるため、今年度の取組はまだ反映されていない段階かと思えます。しかし、学年を明示していない項目は、都平均より下回っており、本校生徒にとって「伸びしろ」がある部分と捉えています。分析結果を今後の授業改善に生かすとともに、生徒の皆さんには、その後の変容が出ていることを期待します。一人ひとりが学力の向上を図れるよう、ここに挙げた項目を意識して、取り組んでいってほしいと思います。



★★8年生「起業家教育」レポート★★

10月21日(土): (株)セルフウイングから講師の先生に来ていただき、「事業計画→融資→仕入れ」を体験しました。また、日本政策金融公庫の銀行マンが融資窓口を担当してくださいました。



ある会社の融資の場面: 「売値を700円にしたのはなぜですか?—市場調査では500円だと安く、800円だと高いというアンケート結果が出たので、間の650円にしようと思ったのですが、それだと利益が少ないので700円にしました。」「30個に決めた理由は?—数量限定とアピールすると売れると思うので。」「85人の7年生で男女どちらかをターゲットにすると30個を売るのは難しくないですか?男女どちらもが購入したがるデザインですか?」なるほどと思う指摘を受けていました。

11月6日(月): 決算の日、12社のうち黒字を出せたのは6社。各社、決算の結果をもとに「どうして計画と結果の差が出たのか」「自社のよかったところは」「次にやるとしたらの改善点は」と自分たちの取組を振り返りました。

【計画との差】

- ・ 宣伝不足・お客様(7年生)と自分たちのイメージの差があった・融資を受けるのが遅くなり、希望の材料を仕入れることができなかった・他社と商品がかぶり、他社の商品の方が出来映えがよかった・商品を多く作りすぎた・ターゲットが狭すぎた

【良かったところ】

- ・ 実用性がある商品を作れた・笑顔で接客できた・商品の完成度が高かった・話し合いに参加し、自分たちの意見を言えた・売り方(営業)がうまかった

【改善点】

- ・ マーケティングをもう少し細かく行う・他社に先を越されないために、事業計画を早く作成し融資を早く受ける・お客様の立場に立った商品を考える



【融資を担当した金融機関からの講評より】

- ・ 地元密着のゆるキャラのようなものを使っていたのが良かった・「8年生学年1位が使っています」のキャッチフレーズは良かった
- ・ どうして赤字が出たか、そこで立ち止まらずに次に生かすことが大事・1位になったら良いのではなく、改善を重ね、1位を続けられることが大事・日本の中小企業で赤字の会社は多いが、それは逆に今後の成長につながりやすい

【講師の先生からのまとめ】

- ・ 「自分で考えて自分でできる」「新しいことを自分で考えることができる想像力をもつ」「失敗を恐れず、新しいことにチャレンジできる」「自分の考えをしっかりと伝えることができる」「精神的に安定し、友達と良い関係を築ける」人間に。
- ・ 社会のために働く、店をつくる、新しいことをする、会社の中で活躍する、家の仕事をする、専門的な仕事をするなど、将来には多くの選択肢があります。
- ・ 「起業」も、今回の班の中で分担したように、得意なことでチャレンジできます。社長になる?会計?企画・製造?販売?宣伝?専門的な仕事?こうした人たちが力を合わせて初めて成り立っていると思います。

【高二中だより バックナンバー】

二次元コードを読み込むと
こちらから閲覧できます⇒



売上・利益 No.1 商品

